

## 臨時休館中の取組について

秋元 清二

新型コロナウイルスの影響により、当館は令和2年2月29日から5月31日まで臨時休館の措置を行いました。展示をご覧いただけない状況が長く続く中で実施した取組について、ご紹介します。

### ①広報活動

「自宅にいても博物館を感じられる広報」を目指しました。主な広報手段はどこでも閲覧が可能なwebとし、HPとtwitterを活用しました。

twitterへの投稿

当館では、自然に関する話題を中心に投稿を行っています。展示物の紹介をはじめ、博物館周辺の自然、学芸員の仕事内容、イベント案内と多岐にわたります。



展示している資料の紹介(カルカロドン・メガロドンの歯)



博物館のアカマツに産卵するヒメバチの仲間

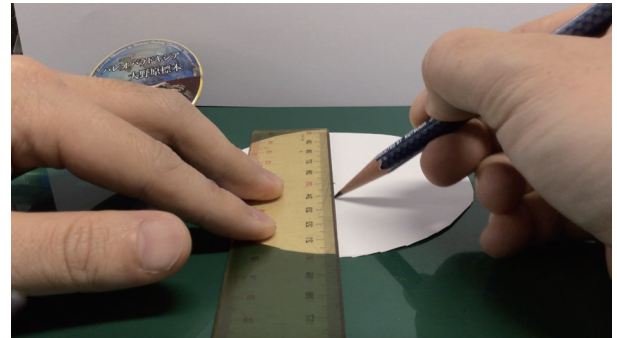
臨時休館中に展示室トイレの手洗い場から植物(ヌスビトハギ)の芽が出た投稿には、多くの「いいね」をいただきました。



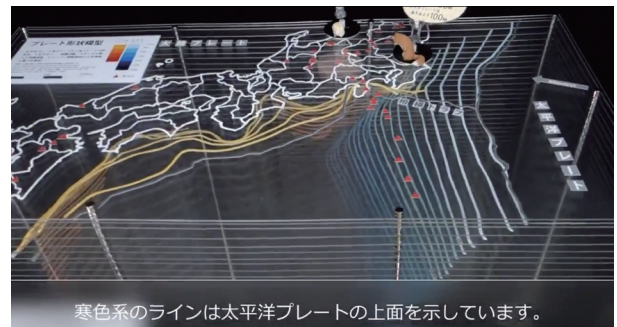
手洗い場から芽を出したヌスビトハギ

### ②教育普及活動

新たな試みとして、動画の制作とYouTubeへの投稿を行いました。自宅で楽しめる工作要素を含んだ動画や、自然に親しむ入口となるような解説動画、企画展の見どころ紹介といった、子どもから大人まで、幅広い年齢層を対象としています。

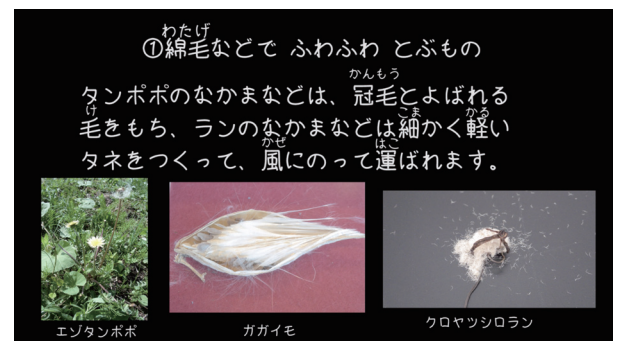


タンポポのタネ模型をつくろう



寒色系のラインは太平洋プレートの上面を示しています。

企画展の展示物を用いた解説



植物のタネについての簡単な解説

### おわりに

今回の取組では、臨時休館中であっても博物館の魅力を伝えることが可能であると再認識することができました。

来館を前提とした取組だけでなく、実物とバーチャルの良い面を活用した当館の広報活動、教育普及活動は今後も続きます。

(あきもと せいじ・主任)